

2018 J2 順位表 第33節【暫定】

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

(*は消化試合が1少ない)

1	松本	61p	+15	45	30	HO		
*	2	町田	60p	+16	51	35	H● A●	
3	大分	57p	+20	58	38	A● H●		
4	東京V	56p	+13	47	34	A△		
5	横浜FC	56p	+12	50	38	H● A●		
6	大宮	54p	+12	53	39	AO H●		
*	7	福岡	54p	+13	44	31	A●	
8	徳島	53p	+15	46	31	H△ A●		
9	山形	49p	+1	40	39	A●		
10	岡山	48p	+2	34	32	A△		
11	水戸	47p	+4	38	34	HO		
*	12	山口	45p	-4	51	55	H△	
13	甲府	42p	+7	48	41	H● AO		
14	千葉	42p	-2	60	62	AO		
15	栃木	41p	-9	32	41	H△ A●		
16	金沢	40p	-1	39	40	H●		
17	愛媛	39p	-12	28	40	AO H●		
18	新潟	36p	-12	37	49	HO A●		
19	岐阜	32p	-15	37	52	---	---	
*	20	京都	28p	-18	29	47	A● H●	
21	熊本	27p	-22	41	63	AO H●		
22	讃岐	26p	-37	24	61	AO H●		

次回HomeGame

第37節 vs. ファジアーノ岡山

10/13 (日) 15:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)

年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

Living in Woods

本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

湯麺 戸塚

店主: 戸塚 哲也

瑞穂市穂積 1596-4

11:30~14:00/18:00~21:00(L.O.20:50)

お休み情報 twitter: @Tanmen_Tozuka

☆☆☆各務原店もよろしく!!☆☆☆

today's guest : **東京ヴェルディ**

2017 J2 20勝10分12敗 勝ち点70: 5位

直近の対決と結果

2018/04/07
J2 - 8節@味スタ

東京V 0-0 岐阜

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		東京ヴェルディ	
2018/09/15 J2 - 33節@鳴門大塚 徳島 2-1 岐阜	2018/09/16 J2 - 33節@味スタ 東京V 2-2 熊本		
2018/09/08 J2 - 32節@デンカS 新潟 5-0 岐阜	2018/09/08 J2 - 32節@味スタ 東京V 2-1 横浜FC		
2018/09/01 J2 - 31節@長良川 岐阜 0-1 大宮	2018/09/01 J2 - 31節@石川西部 金沢 0-1 東京V		

●チーム浮上の切っ掛けがなかなか掴めないFC岐阜。9/1 (土) 第31節は、ホームに7位・大宮を迎えての一戦。序盤から押され気味の岐阜だが、粘り強く守り続けていたが、試合終了間際のセットプレーをオウンゴールしてしまい、0-1で悔しい敗戦。そしてクラブワースト記録の8連敗を喫してしまった。続く9/8 (土) 第32節は、アウェイの地で19位・新潟との“勝ち点6の懸かった”重要な一戦だったが、岐阜の守備が崩壊し、前半に3失点。後半も2失点、そして1点も奪うことができずに、0-5の大差で敗戦。そして9/15 (土)・アウェイでの8位・徳島との第33節では、前半に失点するものの後半に#9山岸祐也のゴールで追いつくが、試合終了直前に勝ち越しゴールを決められ、まさかの2-1での敗戦。これで、クラブワースト記録は10連敗に更新されてしまった。そして、現在のFC岐阜の順位は、新潟に抜かれて19位に後退。順位は1つ下がったのだが、10連敗、つまり10試合で勝ち点を1つも積み上げることができていないため、J3降格圏である21位・熊本(暫定)との勝ち点差も(熊本は、この3試合で勝ち点1を積み上げているために)5に縮まっている。20位・京都との勝ち点差も4に迫っている。この直近3試合、1試合は大量失点での敗戦、そして2試合が試合終了直前に守備が踏ん張りきれずに失点して勝ち点を失っていることからすると、90分間を通しての体力・集中力に不安材料を抱えていると言わざるを得ない。今シーズンの岐阜は、スタメンの平均年齢が若く、“ピッチ上の監督”がいないため、こういった負のスパイラルに陥ると、なかなか抜け出すことができないという分析もできるだろう。攻撃面でも、前節の徳島戦では5試合振りにゴールを奪うことができたが、逆に言えば4試合無得点。直近10試合は、6得点26失点とまさに泥沼の状況だ。しかし、失った勝利や拾えなかった勝ち点をいくら嘆いてみても、戻ってくる訳ではない。今シーズンは、残り9試合。その1試合1試合を、90分間ひたむきに最後まで戦って、勝利をそして勝ち点を積み上げていく、それが求められていることは、誰もが分かっているはずだ。

さて、今節の対戦相手は東京ヴェルディ。栄光ある“オリジナル10”にしてJリーグ初代王者も、J2暮らしの方が長くなってしまっているが、昨年はスペイン人監督・ロティエナ体制に刷新した結果、シーズン5位そして初のプレーオフ進出を果たした。ロティエナ体制2年目の今季は、現在、4位(暫定)でプレーオフ圏内に位置し、まだJ2優勝も射程に入れている状況だ。直近5試合は3勝2分。ただし、前節は21位・熊本に2-2で引き分けている。

ヴェルディの最注意選手には、やはり現在12ゴールの#9ドウグラス・ヴィエイラを挙げなくてはならない。直近5試合でも2ゴールと好調を維持している大型FWを自由にさせないよう、岐阜の守備陣の奮起を期待したい。また、直近5試合で同じく2ゴールの#16佐藤優平にも注意が必要だろう。

東京Vとの通算対戦成績は岐阜の4勝4分12敗・18得点34失点と、非常に相性の悪い相手だ。ホーム戦では3勝1分5敗・12得点13失点の成績だ。昨年のホーム戦である10/21 (土) 第38節は、#9ドウグラス・ヴィエイラに2ゴールを決められ、1-2で敗れた。そして今季の対戦である4/7 (土) 第8節は、0-0で引き分けに終わっている。まだ、長く暗いトンネルから抜け出せないFC岐阜。しかし、明けぬ夜は無いように、抜け出せないトンネルも無い。そして、そのトンネルから抜け出すための努力は、チームだけでなく、フロントそして僕らサポーターも一体となつてこそ、結果となつて表れることだろう。そして何より、誰もがホームスタジアムでの勝利を信じているはずだ。この苦しい状況を打開するため僕らの拍手と声援をスタジアムに響き渡らせ、最後まで選手たちを鼓舞し、その背中を押し続けよう。そして試合後には、勝利の“万歳四唱”を、スタジアムに響き渡らせよう。(ささたく)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。休:月曜日

投稿募集 !!

gidaidohri@gmail.com

【第31節】岐阜0-1大宮

●クラブワースト・タイ記録の7連敗。これを打開するためにチームの模索も続いている。いろいろとスタメンを入れ替えて…は分かるんだけど、なんで4試合振りに出場する#10ライザが右サイドなのかしら？前線でボールが収まらないことが問題のひとつなのだから、#10ライザには、まずは中央でボールを収める役割を果たして貰わないと、攻撃する際の“溜め”ができないと思うんだけど…と、若干不安に思いながらの試合開始。

そして、その不安は嫌な方向に的中してしまう。怪我が完治していないという噂もあった#10ライザは、右サイドを抜け出そうとする際に、何度も相手の複数選手に囲まれて潰され、痛めてしまって前半で交代。まあ、『たられば』なんですからね…（溜息）。大木サッカーは経験が重要だけれど、FW3人を始めとするパスの連携がまだ構築できていないため、なかなか効果的にパスが繋がらないし、そのパスミスを狙って大宮の選手が詰めてくるので、余計にミスが増える…という、ここしばらくは何度も見た悪循環の試合展開。ただし、大宮も調子が悪いのか、プレーの精度を欠いているため、ゴールを奪われることなく何とか守る岐阜。それを見た大宮は、#9シモヴィッチを投入…あー、やっぱりデカくてフィジカル強い1トップFWって、少なくともJ2では分かりやすく効果的ですね（苦笑）。中央で“溜め”ができるようになり、大宮は攻撃に迫力が増すが、それでも何とか守る岐阜。…と、苦しい試合展開が80分を経過した頃、ここで岐阜は#19藪内健人に替えて…#15田森大己！？ええっ、つまり、FWに替えてDF……僕は頭の中で『この選手交替が攻撃的になる布陣』を考えてみたのだけれど、どう考えても“守り固め”。あの“常に攻撃的采配”で知られる大木監督が、しかもホーム戦で、勝ち点1を獲りにいった……それを、苦しいチーム事情の結果と見るべきなのか、あるいはこれをどう評価すべきなのかは、今後の采配を待たないといけないうらう。

ただし、この試合に関して言えば、残念ながら裏目に出たと言った方がいい。守りきることに慣れていない岐阜の選手たち。そして失点は、まさかの岐阜FKからのオウンゴール…。そして守備固めに入っていた岐阜には、残り5分で1点を取り返す力は残っていなかった。そのまま0-1で試合終了。勝ち点が“逃げていった”と言った方がいい。

悔しい、それも今日の大宮の出来が良くなかったことを考えたら、本当に悔しい敗戦だった。しかし、気持ちを切り替えて、前に進むしかない。（ささたく）

●3人目の交代選手を見た時、思わず目を疑った。何度も何度も見直して、後ろのヴィジョンを振り向いて確認したけど、出てきたのはやっぱり田森。「ナンちゃんじゃないの？」という驚き。流れが来ているように見えた。そして、今まで見てきた、自分の知っている大木さんなら当然攻撃的な駒を投入すると思ってた。何のために田森？アンカーの位置？もしかして、シモヴィッチ対策？え？じゃあ、引き分け狙い？大木さんが？……。そんな疑問符だらけになって、一瞬パニック状態に。正直、その瞬間は納得できなかった。なぜか、無性に腹がたった。そして、出された結果がオウン・ゴールでの敗戦。守備固めに入って、コレか？試合終了と同時に思わず膝に手をつけてしまった。前節の町田戦から2試合続けてオウン・ゴールで負けたような感覚さえあった（町田戦の公式記録はオウン・ゴールじゃないけど）。この日の、特に終盤のスタジアムの雰囲気があれば、そこにナンちゃんが出てくれば……と思っていただけにものすごく残念でならない。

ただ、冷静になって考えれば『引き分け狙い』は頭から否定すべき手段ではない。試合後の反省会での仲間たちの意見は、そちらの方がほとんどだった。もちろん、「アノ大木さんが、ついに……」という感想は満場一致。後日、目にした大宮戦のインタビューで「生まれて初めて、守備的なカードを切った」という監督の回答。それが、今後にどう影響を

与えていくのか。少なくとも、状況に応じて守備的な戦術を取る用意があるということだ。これからは勝ち点1が重要になる。それを確実にものにするためには、なりふりに構っちゃいけない。ガムシャラにやるしかない。やりきろう！（ぐん、）

●これは、指導者・大木武の歴史に残る試合だ。だって、監督本人がそう言っているのだから。

仲間内での共通見解で、岐阜の現状を「勝ち点1でもいい局面でもフルバトラーの大木監督は勝ち点3を獲りに行って勝ち点0にしている」というのがある。観ていて愉しいワクワクするサッカーで勝ち点3を得る。問題は、それが厳しい戦況でどうするか。次善案、いわゆるBプランを装備していないことで、これが勝ち点0を産み続けている。ところがこの日、その大木監督が、同点で後半残り数分となった時に藪内→田森の選手交代を敢行。田森を4バックのすぐ前に配置した。4-1-4-1だ。シモヴィッチにクロスを入れさせないためにサイドに蓋をして、さらに中央にも釘を打つ。大分戦で後半開始から3バックを仕掛けてきた時も相当な衝撃だったけれど、このシステム変更と「スコアレスドローで勝ち点1を拾いに行く姿勢」はそれをも上回る衝撃。しかし、結果としては阿部ちゃんのオウンゴールで敗れてしまう。クラブワースト初の8連敗。とはいえ、オウンゴールは結果に過ぎない。

この試合での、大木監督の采配をどう見るか。『変化』か『変節』か。ぼくは肯定的に受け止めた。ついに、ついに大木武がBプランに手を出した。戦い慣れてはいないけれど、むしろかしいと言われる撤退戦モードに入った、と。もちろん、否定的に受け止める仲間もいた。いわく、「Bプランに手を出す大木監督は見たくない」「守備的に行ってオウンゴールで負けるのなら、大木監督らしく攻撃的に」。気持ちはわかるけれど、姿勢を「変えない」という点をピックアップすればそれは『座して死を待つ』と形容することだって可能だ。

変化は、遅過ぎた。ここで変わるのなら、もっと早く変わっておけば。しかし、後日に読んだ大木監督の取材記事で「生まれて初めて守備的なカードを切った」とのコメントがあった。大木監督にとってもこの選手交代は、ある意味自身の「サッカー指導者哲学」を否定する決定だったんじゃないか、という気がする。あとは、このにわか仕込みのBプランが今後の残留闘争にどう出るか、だ。（吉田鑄造）

【第32節】新潟5-0岐阜

●8連敗中の18位・岐阜と、直近6敗1分の19位・新潟の一戦。これまでのシーズン後半戦で、讃岐、栃木、京都、熊本と、下位のチームに勝利を与える優しさを発揮している（溜息）岐阜にとっても、あるいは新潟にとっても、『ここで勝たなくては！』という、ある意味ではJ2残留を懸けた“裏・天王山”の重要な一戦だと僕は思っていたのですが……。

試合序盤から、明らかに岐阜の選手たちの動きが重い。それまでもシーズン開幕に比べると動きが鈍くなっていて、動きながらボールを受ける事が減り、だから球際を狙われやすくなっていると僕は感じているのだけれど、この試合はそれが更に顕著になっている……うーん、やはり練習環境なのか、それともフィジカルトレーニング不足のためなのかしら。一方の新潟は、鋭く岐阜の選手に迫り、かなり激しい球際争いをしてくるため、岐阜の選手はボールを自由にできない。そして新潟はボールを奪ったら素早く縦にパスを出して、右サイドを起点にして攻め込んでくる。その迫りに抗しきれず、失点を重ねてしまう岐阜。前半だけで新潟の#9河田篤秀にハットトリックを、しかも似たような失点シーンで献上するとは……（溜息）。後半開始から、岐阜は選手交替そして3バックにシステム変更して打開を図るが、それでも新潟の勢いを止められない。後半も2失点。意地でも1点は返して欲しいと思ったが、それも叶わず。結局、0-5で大敗。またしても、ホーム戦での勝利に飢えている新潟サポに勝利を与える岐阜の優しさときたら……（溜息）。

これで自分より下位のチームに全部負けた。残るは上位のチームとの対戦のみ。やるしかない。(ささたく)

●久しぶりのビッグスワン。前回訪れたのは12年くらい前のことか。シャトルバスを降りてすぐにスタジアムがあって、「アレ?こんな感じだったけ?」と思ったが、当時はなかったハードオフ・スタジアム(野球場)だった。双方の間を走っている県道の下をくぐっていくと、初めてココを訪れた日韓W杯のアイランドvsカメルーン戦のことを思い出す。「ウチがココで試合するのか〜。」と思うと感慨深い。W杯を開催したスタジアムでの試合は他にいくつもあるが、自分が日本で現地観戦したのはココだけだったから、余計にそういう思いがしたんだろう。新潟のB級グルメ『イタリアン』も久々に味わえ、お世話になっている新潟サポさんに挨拶できて、お土産も渡せ、お酒も食べ物も美味しかったし、『ぼんしゅ館』には心躍らされたし。この時期に夏休みを取って本当によかった。よかったんだけどね……。

試合?試合か〜。天気が心配だったけど、ビッグスワン到着から引き揚げの時まで気になるような降り方はしなかった。それだけありがたかった。それだけね。

う〜ん、5失点ですか。今季の最多失点ですよなえ。しかも、唯一対戦が残っていた下位に位置する新潟に。これで、折り返し以降に対戦した下位のクラブには全敗。さすがにね。この結果には声も出ない。新潟が特別よかったワケじゃない。だからこそ、よけいにツライ。しかし、いつまでもふさぎこんでいるワケにはいかない。試合はまた、スグに来る。この試合のことはスパッと切り替えて徳島戦に臨もう。やるしかないんだ。やりきろう!(ぐん、)

【第33節】徳島2-1 岐阜

●本当に、本当にあと少し…しかし、サッカーの神様は実に残酷だ。こんな結末を用意しているのだから。岐阜の選手たちの動きは悪くなかった。というか、新潟戦では何故この動きができなかったのかと(苦笑)。右SBで今季初起用の#34北谷史孝の動きも良かった。怪我明けの#7田中パウロ渟一もコンディションが上がってきたようでキレが増していたと思う。1失点目は、確かにチェックが遅れたけれど、あの場面で素早く足を振り抜いた徳島の#26バラルを誉めるしかない(8試合8ゴールって、どんだけ…)。その後も試合のペースを奪われることなく、岐阜の攻撃陣は何度もチャンスを作り出し、そして80分には#9山岸祐也がCKからのドンピシャヘッドで、5試合振りとなる岐阜の得点を挙げてくれた。決勝点を挙げるべく勢いを増す両チーム。どちらに決勝点が入っても不思議ではない、そんなヒリヒリした感覚での終盤戦。だからこそ、最後の最後、アディショナルタイムにああいうシーンが多く生まれるんだけれど…。

こぼれ落ちた勝ち点。しかし、この結果を受け止めるしかない。長く暗いトンネルの向こうに、光明は見えた…ような気はする。ただし、そういった試合の次に、別人のような試合をしてしまうことが、今の不調の原因の一つでもあると思う。『今節こそ』。その気持ちを胸に、今節こそ、勝利を!(ささたく)

●ウソだろ?……と、思わず声を出しそうになった某ネカフェのリクライニングシート。諸事情によりDAZN観戦を余儀なくされて、それでもいつもどおりにレプユニをまとい、タオルを掛けて、届かないとはわかっている、心の中で精一杯の声援を送ったのだが、これはなんとも受け入れ難い結末。「神様、ウチら、何かしましたか?」と、サッカーの神様の裾にしがみついてお伺いしたい気持ちになった。ましてや、選手やスタッフ、そして現地組の心境はいかばかりか。試合終了直後に映し出された監督の様子、表情がそれを如実に物語っていた。お疲れ様でした、としか言いようがない。こんなことを書いても、何の慰めにもならないが試合の内容は悪くなかった。福村の出場停止の影響を感じなかった。北谷もアベちゃんもよくやってくれた。両CBも、破壊力抜群

の徳島FWの二人を必死に抑えてくれていた。ずっと献身的に走り続けた祐也も、ようやくの今季3点目を決めてくれた。途中交替のコーヤはリズムを変え、好機を演出し、アシストをしてくれた。そして、ナンちゃんの真骨頂とも言えるバックヘッド。全員が仕事をしてくれた。今考えても、少なくとも勝ち点1は与えられるべき内容だった。

しかし、パウロが絶好の先制チャンスを決められなかった。キツイことを言うようだが、今のウチのトップスコアラーだ。彼にかかる期待は大きい。やってもらうしかない。そして、ポストも味方してくれた。そう考えると、神様は何度か手を差し伸べてくれていたのかもしれない。それを活かせなかったからこそその結末だったんだろうか?受け入れ難い結果だが、そうやって無理にでも納得させるほかはない。下を向いているヒマはない。まずは、長良川で勝とう!共に闘おう!(ぐん、)

【ユース】Jユース杯、開催

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は今年東海プリンスリーグに参戦しています。9月1日(土)に第11節静岡学園高校戦、8日(土)に第12節中京大中京高校戦、15日(土)に第13節藤枝東高校戦が有りましたが、それぞれ1対6、1対2、1対4で敗戦となりました。昨日22日(土)に第14節帝京大可児高校戦が予定されていますが、結果はどうだったでしょうか?

15日の時点でFC岐阜ユースは2勝0分11敗の勝点6で10チーム中9位で、8位の藤枝明誠高校との勝点差は7となっています。この後は10月6日(土)に第15節名経大高蔵高校との対戦が予定されていて、その後は暫くリーグは中断されます。名経大高蔵高校は現在10位のチームですが、けっして油断する事無く、しっかり勝点3をもぎ取って欲しいです。又、今年もJユース杯が開催されます。FC岐阜ユースの一回戦の対戦相手は鹿児島ユナイテッドFC U-18で、現在鹿児島県の2部リーグに参戦しているチームです。これまでFC岐阜ユースはJユース杯で勝利した事は有りません。今年こそは1回戦を突破したいですね。試合は長良川球技メドウにて10月13日(土)19時にキックオフ!この日はトップチームの試合がありますが、トップチームは15時キックオフなので、十分ハシゴ観戦は可能です。是非観戦に行ってやって下さい。頑張れよ、応援しているからな!FORZA!FC岐阜ユース!!

※試合会場・時間に変更される場合が有ります。必ずJFAやチームの公式サイトで確認して下さい。(シュナ)

9/20 時点のJ3順位表。

●天候不良で未消化だった試合が終わって、残り試合数が揃ってきました。そして、J2残留争いをしているチームにとって注目の「来季のライセンス」がそろそろ発表になる頃です。

1 琉球	44p +18	44	26	残り 10	★2018 ライセンス
2 鹿児島	43p +16	35	19	残り 10	★2018 ライセンス

3 沼津	40p +13	28	15	残り 10	
4 群馬	37p +2	24	22	残り 10	★2018 ライセンス
5 秋田	34p +7	26	19	残り 10	
6 鳥取	33p +8	38	30	残り 10	★2018 ライセンス

自動昇格圏に変化はありませんが、その下から「元J2」組がじわじわと上がってきました。とはいえ、元J2だからJ3でも上位にいられるわけではない。富山は17チーム14位、北九州は16位と沈み切っている。J3は恐ろしいリーグです。『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。(編集人:吉田铸造)

FC岐阜 2018 応援曲(チャント)・コール集

■チームコール(試合開始前)

※試合が始まります。みんなで手拍子をしてスタジアムを盛り上げましょう。

オーイ! ●●●●、オーイ! ●●●●、
オーイ! ●●●●、オーイ! ●●●●、オーイ! ●●●●、オーイ! ●●●●

■チームチャント(選手入場時)

※タオルマフラーや旗、ゲートフラッグ等を持って選手を迎えましょう。

■日曜日よりの使者(ザ・ハイロウス/日曜日よりの使者)
We are 岐阜 We are THE GIFU ララララ ララララ
We are 岐阜 We are THE GIFU ララララ ララララ(ゴフ!)

■チームコール

1) エフ! シー! ギフツ!!! ●●●●●●
2) ゴール! ゴール! エフジぎっふ! ●●●●●●
3) ウー! アー! 岐阜! ●●●●●●

■チームチャント

■FC岐阜 We Love You (水森亜土/すきすきソング)
オツオツ オオオ オツオツオオオ オオオオオ (FC岐阜!) ※繰り返す
FC岐阜 FC岐阜 We Love You (オイ! オイ! オイ! オイ! オイ!)

■エンターテイナー (S.JOPLIN/The Entertainer)
オー オオオオオオオー Oh エフン岐阜アレー
さあ 胸を張って 戦おうぜ 緑の勇者(ゆうしゃ) アレー
※繰り返す

■俺らは歌う
ラララ俺らは歌う 岐阜の語り(ほこり)胸に
友の勝利を信じ 熱く声を響かせるのさ

■ナダレ (Vago y Atorrante)
バモ岐阜バモ 友よ さあ行く ナダレる 暴れろ われらと
熱い気持ち バモ岐阜バモ いざ 今戦おう

■語り胸に (Hey che bostero)
俺達が 共にいる どんな時も お前と
今ここで みせる岐阜 語り(ほこり)胸に 戦え

■凧なら (オリジナル)
共にいこうぜ われらと ララララララララララ
共に闘え(たたかえ) われらと ララララララララララ
勝利をつかめ きみが凧(おとこ)なら

■我ら岐阜 (ismail Hakki bey/トルコ軍隊行進曲:Ceddin Dedden)
WE ARE GIFU WE ARE GIFU ララララ ララララ
おお友よ いざゆかん時が今ここに さあ語り(ほこり)高き われら岐阜

■ラララ岐阜(フライブルク)
ララララララララララ ララララララララララ
ララララララララララ ララララララララララ 岐阜!

■アツく闘え
オーオオオオオ 友よ さあ 俺達ととーもーにー
オーオオオオオオ 友よ アーツク 闘えー

■Boys In Green (Baashtunter/I can walk on water, I can fly)
魂(たましい)尽きる(つきる)一まで 駆けろ(かける)星へ友よ
勇気(ゆうき)胸(むね)に抱(いだ)き(た)き 信じてーいるBoys In Green
(*)最初はこの歌詞で拍手し、次は「ラ」で歌い跳ねる。繰り返す

■俺たちと共に(オリジナル)
オーオー エフシー岐阜 おーれーたーちと とーもにー
オーオー エフシー岐阜 すべてをかけー たたかえー

■情熱を燃やせ

情熱(じょうねつ)を燃やせ 勝利のために
オー オオオオオ オオオオ オオオオ オオオオオ

■チームチャント(仮称)
ラララ ラララララ ララララララララララ オオオオ

■ザンクトパウリ
ラララララララララ ララララララララララ
ラララララララララ ララララララララララ
ラララララララララ ララララララララララ 岐阜

■ケルン
オーオオオオ オオオオオ オオオオオ オオオオオ オオオオオ
さあ行くぜ We Are GIFU しよーりつーかもう とーもにー
(*)歌詞どおしで歌うフレーズは、それぞれ2回ずつ繰り返す。

■アレアレ岐阜アレ
アレアレアレ岐阜アレー アレアレアレ岐阜アレー
アレアレアレ アレアレアレ アレアレアレ岐阜アレー

■負けられない戦い(PET SHOP BOYS/Go West)
オーオー! バモ岐阜 オレ オーオー! バモ岐阜 オレ
負けられない戦い 魂(たましい)込め 戦え

■情熱を胸に(オリジナル)
燃えたぎる情熱(じょうねつ)をー その胸に持ち 戦え
恐れず(おそれず)前を向き ゴールを奪え(うばえ)ー

■アレ岐阜
アレアレ アレアレ アレアレ岐阜アレー
アレアレ アレアレ アレアレ岐阜アレー

■FORZA FC岐阜
ラララ ラララララ ララララ ラララララララララ
フォルツァ FC岐阜! フォルツァ FC岐阜!
フォルツァ 岐阜 フォルツァ FC岐阜!

■SUNRIZE GREEN(LINDBERG/SUNSET BLUE)
行け 行け われらが FC岐阜
We are GIFU, We love GIFU, Let's Go! FC岐阜
行け 行け われらが FC岐阜
支え続けろから (オイ! オイ! オイ! オイ! オイ!)

■勝利のチャント ※試合に勝った喜びを、高らかに歌いましょう。
■アイダ(凱旋行進曲)(Giuseppe Verdi/Grand March (from aida))
オーオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオオ
FC岐阜! FC岐阜! FCぎぎぎぎぎぎ

■俺らの誇り【アイダ→万国四曲からのつぎまで】
オーオオオオ 俺らの誇り(ほこり) オーオオオオ 岐阜の誇り(ほこり)

■シヤナナ(MINIMI/シヤナナ)
ラララララララララ ララララララララララ (岐! 卓!)

■勝利の賛歌(オリジナル)
WE ARE GIFU 共に われらは 歌う
WE ARE GIFU ここに 勝利の賛歌(さんか)を
緑の友を われらは語り(ほこり)
歓喜(かんき)の叫びで 大地(だいち)を震(ふる)えろ
勇ましき(いさましき) われら岐阜 絆(きずな)よ 永久(とわ)に オーオ

■選手コール・チャント

※ポジションは要に応じて異なる場合があります。

- 1 GK 岡本 享也(おかもと ちやちや) 【おかもと! ●●●●】
- 2 DF 阿部 正紀(あべまさのり) 【まさのり! ●●●●】
おれーたーちのー 阿部正紀 勇気胸に 行こうー正紀
- 3 DF 竹田 忠嗣(たけだ ただし) 【ただけだ! ●●●●】
竹田忠嗣 オレ 竹田忠嗣 オレ ララララ ラララララ 竹田オレ
- 5 MF 青木 翼(あおき つばさ) 【つばさ! ●●●●】
- 6 MF 三島 須平(しみしりょうへい) 【しみし! ●●●●】
- 7 MF 田中 パウロ(たなか ぱうろ) 【パウロ! ●●●●】
ラララララララララ ラララララ 田中パウロ ゲッタゴール!
- 8 MF エセキエル ハム(Ham Alessio Ezequiel Naim) 【エ!セ!キエル! エ!セ!キエル! ●●●●】
- 9 MF 山岸 祐也(やまぎし ゆうや) 【やまぎし! ●●●●】
- 10 FW ライアン デ フリース(Ryan De Vries) 【ライ!イ!ザ! ラ!イ!ザ! ●●●●】
【11 FW 古橋 亨梧(ふるはしきょうご)】→神戸に移籍

- 14 MF 風間 宏矢(かざま こうや) 【こうや! こうや! ●●●●】
こうやー こうやー アレ風間宏矢
- 15 MF 田森 大己(たのもり だいき) 【たのもり! ●●●●】
田森大己 オオオオー オオオオー
- 16 DF 福村 貴幸(ふくむら たかゆき) 【ふくむら! ●●●●】
福村 貴幸 ララララララララララ 福村 貴幸 ララララララララララ
- 17 DF 藤谷 匠(ふじたに たくみ) 【たくみ! ●●●●】
- 18 FW 石川 大地(いしかわ だいち) 【だいち! ●●●●】
- 19 FW 篠内 健人(しのうち けんと) 【やぶうち! ●●●●】
【20 MF 禹 相皓(WOO Sang Ho)】→愛媛に期限付き移籍
- 21 GK 原田 祐輔(はらだ ゆうすけ) 【はらだ! ●●●●】
- 22 MF 島村 祐弥(しまむら たくや) 【たくや! ●●●●】
- 23 MF 小野 悠斗(おの ゆうと) 【おのゆうと! オレ! ●●●●】
オーオオオー Venga Vamos ※スペイン語で「頑張れ」の意) 小野悠斗
俺らと行こう 小野悠斗

- 24 FW 難波 宏明(なんば ひろあき) 【なんば! ●●●●】
オー! オー! オレオー 難波 オレー
駆ーけー抜ける 難波 ゲットゴール

- 25 GK ピクトル(Victor Ibanez Pascual) 【ピクトル! ●●●●】
ピクトル イバニェス(※父方の姓) オーオオオ オーオ
ピクトル イバニェス オーオオ オー

- 26 MF 長沼 洋一(ながぬま よういち) 【ながぬま! ●●●●】
- 27 DF イヨハ 理ヘンリー(いよは おさむ へんりー) 【ヘンリー! ●●●●】
- 28 MF 永島 悠史(ながしま ゆうし) 【ながしま! ゆうし! ●●●●】
- 29 MF 村田 透馬(むらた とらうま) 【とらうま! とらう! ●●●●】
- 30 MF 村島 賢星(むらしま けんせい) 【けんせい! ●●●●】
- 31 MF 宮本 航汰(みやもと こうた) 【みやもと! ●●●●】
- 32 MF 全山海(JEON SAN HAE) 【ジョンサネ オレ! ●●●●】
- 33 FW ミシヤエル(Santos Silva Alves Michael) 【ミ!シヤ!エル!ミ!シヤ!エル! ●●●●】
【ミ!シヤ!エル!ミ!シヤ!エル! ●●●●】

- 監督 大木 武(おおき たけし) 【おおき! たけし! ●●●●●●】